

明和町文化財保存活用地域計画 概要版

1 文化財保存活用地域計画作成の背景

○近年の人口減社会に伴う文化財・文化遺産の後継者不在や担い手不足の問題等の課題がある中、町内に存在する文化財・文化遺産を総合的に把握し、その周辺の環境や体制を含めて保存・活用の施策を図っていくことの指針として「明和町文化財保存活用地域計画」を作成しました。

2 計画期間

○令和3年度(2021)～12年度(2030)の10年間

3 明和町における歴史文化の特徴

本町の特徴

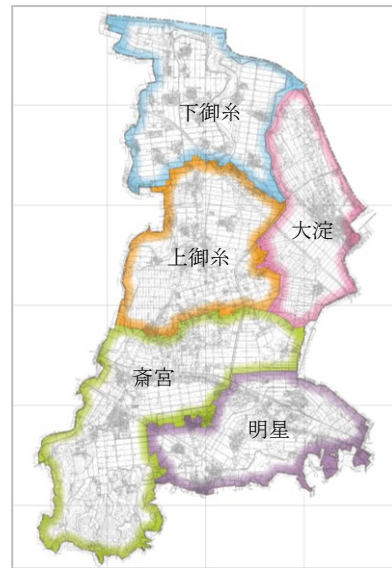
○本町は、松阪市と伊勢市のほぼ中間点に位置しています。また、地形的・歴史的に大きく5つの地区(大淀・下御糸・上御糸・斎宮・明星)に分かれています。

○古代には、伊勢神宮に仕えた皇族女性、斎王のみやこである斎宮が置かれており、王朝文学の舞台にもなりました。また、本町には、斎宮や伊勢神宮に関わる文化遺産や民間伝承なども多く残されており、近世には伊勢参宮を中心とした街道文化によって栄えた町です。

○本町の伝統的な産業には、表面に色や模様を付けて革のような風合いに加工した和紙である「擬草紙」や木綿織物の「御糸織」のほか、醸造業などがあります。



斎王まつり



明和町の大地区および自治会

4 明和町における歴史文化の特徴と文化財の概要

歴史文化の特徴

○本町の歴史文化に関する特徴は、次の3点があげられます。

特徴①
斎王・斎宮に関する歴史文化

特徴②
伊勢神宮に関する歴史文化

特徴③
多様な環境に適応した人々の営みに関する歴史文化

文化財の概要

令和2年3月1日現在

○本町には、斎王や街道文化にまつわる文化財を中心に、国指定文化財が5件、県指定文化財が21件、町指定文化財が30件指定されています。

○その他、本町の歴史文化を形成する未指定文化財が数多く存在しています。

区分	有形文化財							民俗文化財		記念物		合計
	建造物	絵画	書跡	彫刻	工芸品	古文書	考古資料	無形民俗文化財	史跡	天然記念物		
国指定				1			1		2	1		5
県指定		2	2		4	3	9		1			21
町指定	2	1		8	1	4	1	8	5			30
合計	2	3	2	9	5	7	11	8	8	1		56

5 文化財の保存・活用に関する課題と方針

○本計画の策定にあたり、歴史文化の特徴や町の取組状況を踏まえ、文化財の保存・活用に関する課題や方針を整理しました。

歴史文化の特徴

- 特徴①
斎王・斎宮に関する歴史文化
- 特徴②
伊勢神宮に関する歴史文化
- 特徴③
多様な環境に適応した人々の営みに関する歴史文化

町の取組状況(文化財調査)

- ① 町史編纂の総合的調査
- ② 郷土史家による民俗・文献調査
- ③ 県や大学による各文化財の総合的調査
- ④ 斎宮跡と埋蔵文化財に関する調査

文化財の保存・活用に関する課題

- 課題1 調査研究・保存に関する課題
文化遺産を調査研究して価値を高め、後世に保存すること。
- 課題2 活用に関する課題
文化遺産を活用し、本来の価値の共有を図ること。
- 課題3 環境整備に関する課題
文化遺産の環境を整え、魅力を増大させること。

文化財の保存・活用に関する方針

- 方針1 調査・研究・保存に関する方針
調査・研究、指定・登録、防災・防犯体制の整備、次代の担い手への継承 など
- 方針2 活用に関する方針
価値と魅力の共有、人材育成、観光振興の推進 など
- 方針3 環境整備に関する方針
環境整備、来訪者対策、周遊性向上 など

6 本計画の位置付けと対象となる文化財、文化遺産

○本計画では、現在の法律や条令等で規定されている文化財だけでなく未指定文化財も対象とします。

○また、従来の「文化財」だけではとらえきれない人々の活動や風景、地域固有の文化等を「文化遺産」と呼称することとし、「文化財」にそういった活動やモノゴトなどの「文化遺産」が加わった総体を「歴史文化」とすることとしました。こうした「文化財」を取り巻く全てを「歴史文化」として捉えることによって、1つの文化財が、それ1つで成り立っているわけではなく、それを取り巻く様々な要素や環境、地域の人々の活動など(文化遺産)によって支えられていることがよくわかるようになります。

歴史文化：文化財+文化遺産



7 関連文化財群の設定

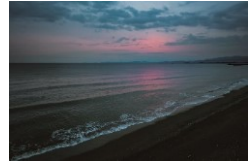
明和町の関連文化財群は、次の8テーマに整理しました。

齋王・齋宮に関する歴史文化

関連文化財群 1

祈る皇女齋王のみやこ 齋宮【日本遺産】

古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた齋王の宮殿である齋宮は、日本で齋宮が存在した唯一の場所として、皇女の祈りの精神を今日に伝えています。



大淀



佐々夫江行宮跡



カケチカラ発祥の地



祓川

伊勢神宮に関する歴史文化

関連文化財群 2

伊勢街道と街道文化

江戸時代に伊勢神宮への参宮客の多くが利用した「伊勢街道（参宮街道）」が通っており、かつての参宮の賑わいを伝える場所やモノが残るとともに、おもてなした心が息づいています。



伊勢街道



擬革紙



伊勢街道の建造物群



安養寺

関連文化財群 3

土器の文化 神宮奉納土器

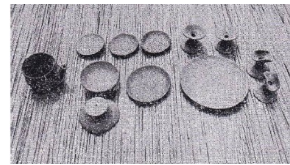
明和町南部では、古代より土師器の生産が盛んに行われており、現在も「かわらけ」を用いた民間信仰などが多く伝承されています。



鳥墓神序跡



史跡水池土器製作遺跡



神宮土器調整所



南伊勢系土器

関連文化財群 4

紡織文化 神御衣～御糸織

古代から織物生産地として成立した御糸地区は、現在も藍染の木綿織物の生産が続けられており、機織機の音がこだまする風景は地域のシンボルとなっています。



御糸織物株式会社建物



御糸織の技術



麻績神社



御糸郷

関連文化財群 5

伊勢神宮を支えた神領五箇村

伊勢神宮との結びつきの強い土地柄であった明和町は、明治時代の政策により神社の合祀や多くの寺院が廃されましたが、今でもその面影が残っています。



齋宮村 乾家御用留



仲神社



福寿院跡・栃本社跡



大海田水代大刀自神社跡

多様な環境に適応した人々の営みに関する歴史文化

関連文化財群 6

多くの古墳が造られたまち

明和町には町内の広範囲に数多くの古墳が分布しており、人々の中で伝説や民話の舞台にもなっています。



坂本古墳群



明星古墳群



小金3号墳



塚山古墳群

関連文化財群 7

神仏をまつる人々

地元で「ザイショ」と呼ばれる地域の自治会では平安仏を祀る寺や式内社が点在し、それぞれ特徴的な祭礼行事が伝承されており、住民によるさまざまな祈りの形態が垣間見れます。



木造獅子頭



モノトウ



六地藏石幢

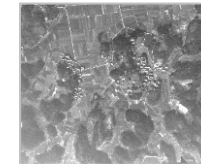


大淀の祇園祭

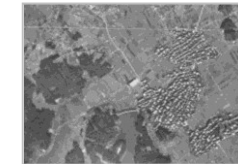
関連文化財群 8

受け継がれる村の形

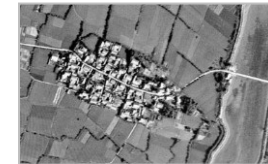
町内の集落では伝統行事がいまなお伝承され、山の神や庚申などの信仰対象が大切に残されており、自然環境に適応した近世のムラの状況をよく留めています。



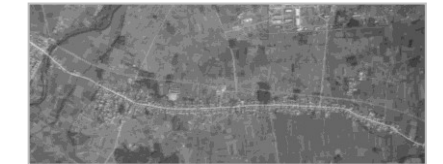
地形に合わせた山の村



式内社を受け継ぐ村



平安から続く村



街道沿いに作られた村

8 町内全域の文化財の保存・活用に関する措置

○今後、文化財・文化遺産の保存と活用に関して行なっていくべき事業内容は、以下のとおり整理しました。

<文化財・文化遺産を守る>

1. 総合調査
2. 総合調査の共有
3. 指定・登録
4. 防犯・防災体制の啓発と見直し
5. 既存資料の整理
6. 収蔵施設の整備
7. 伝承・継承
8. 地域社会総がかりでの保存
9. 学校教育との連携

<文化財・文化遺産を活用する>

1. 総合的な情報発信
2. 文化財・文化遺産の公開
3. ガイドの育成・体制強化
4. 歴史文化を活かした観光商品の開発
5. 歴史的建造物の活用

<文化財・文化遺産の環境を整備する>

1. 公園環境整備
2. 誘導案内の整備